

高度経済成長と石油危機

本時の目標

日本の経済成長について、エネルギーの視点で資料等を多面的・多角的に分析し、日本の社会の変化を、エネルギー源や発電量の推移をとおして考え、表現することができる。

本時の評価規準

知識・技能	日本の社会の変化を、エネルギー源の変化や発電量の推移と関連付けて読み取ろうとしている。
思考・判断・表現	資料をもとに、日本の高度経済成長や石油危機についての特色を読み取り、自分の考えを表現している。

	具体的な学習活動・内容	使用する教材・資料／指導上の留意点
導入	①「東海道新幹線」の写真を基に、本時の学習内容に興味をもつ。(6分) ●学習課題 戦後、日本の経済は、どのようにして急激な発展をとげたのだろうか。	①写真資料から、高度経済成長期の日本のようすを大観させる。 ※「東京オリンピック」等の写真も活用可能 ※「産業革命の進展」で活用した「鉄道網の広がり」の地図を活用することで、蒸気機関車と対比させることも可能
展開	②教科書の年表等を活用し、1960年以降の日本のようすを調べる。(7分) ③資料A・B等から国民生活の変化を読み取り、自分の考えをまとめ、高度経済成長について理解する。(7分) ④1960年以降、国民生活を支えたエネルギーがどのように変化していったのか、資料A～D等をもとに意見をまとめ、石油危機が起こったことに気付く。(10分) ⑤石油危機の結果、国民生活やエネルギーにどのような変化があったのかを、資料A～F等をもとに調べ、考えをまとめる。(12分)	②導入で活用した写真等を活用することで、戦後日本の復興に気づかせる。 ③導入で活用した写真や②で作成した年表を活用しながら、資料をもとに国民生活の変化をまとめさせ、日本の高度経済成長について理解させる。 ※写真資料等を準備することで、三種の神器・新三種の神器等に触れることも可能 ④石炭から石油へとエネルギーが変化したことや、国民生活の変化にともない発電量が増えたことに気付かせるとともに、石油危機によるグラフの変化にも気付かせる。 ※「1973年以降に、一時、国内総生産が落ち込んだことや発電量が減少したこと」等の意見を、⑤につなげることも可能 ※「発電量は上昇し続けるが、石油の割合は変化せず、原子力やLNG等の割合が増えた」等の意見を、⑤につなげることも可能 ⑤ここまでの授業の中で活用した資料等を活用し、考えをまとめる。 ※関連の資料等を準備することで、より多面的・多角的な授業展開にすることも可能
まとめ	⑥経済の発展とともに、日本の社会がどのように変化したのか、本時の学習を振り返り、考えをまとめる。(8分) ●まとめ ・石油によって、高度経済成長が支えられてきたが、石油危機の影響で経済成長が終わり、国民生活やエネルギーが変化した。 ・高度経済成長を迎えたことで、必要となる電気が増加したので、発電量が増加した。	⑥石油危機以降、エネルギーの安定供給の確保や省エネに向けた取り組みが始まっていったことを、本時で活用した資料等を活用しながら触れることで、次時以降の学習につなげる。

資源エネルギー庁



◆関連単元名

- ・社会科歴史 「日本の産業革命」
- ・社会科地理 「九州地方」
- ・理科3学年 「科学技術と人間（自然環境の保全と科学技術の使用）」
- ・技術分野 「エネルギー変換に関する技術」

◆参考情報&データ入手先

- ・石油危機後、日本ではエネルギー供給安定策が打ち出され、石油の「民間備蓄」に加え、「国家備蓄」が開始された。※資源エネルギー庁

(出所)

資料A：内閣府「国民経済計算」を基に作成／資料B：内閣府「消費動向調査」を基に作成 ※1977年以前は各年2月末、1978年以降は各年3月末の数値
資料C：三和良一「近現代日本経済史要覧」東京大学出版を基に作成／資料D：資源エネルギー庁「電源開発の概要」、「電力供給計画の概要」を基に作成
資料E：日本エネルギー経済研究所石油情報センター資料、財務省「日本貿易統計」を基に作成

学習課題

戦後、日本の経済は、どのようにして急激な発展をとげたのだろうか

3年 組 番 名前

1. 東海道新幹線が開通したころの日本のようすを調べよう。



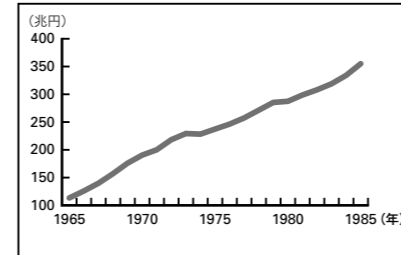
写真：毎日新聞社/アフロ

年代	できごと
1960	【 】計画
1964	【 】開業
	【 】開催
1970	【 】開催

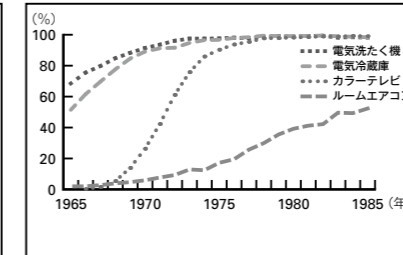
◎その他で調べたこと

2. 1960年以降、国民の生活はどのように変化したのだろうか。1の年表も参考に考えよう。

◎資料A 国内総生産（実質GDP）



◎資料B 電気製品の広がり



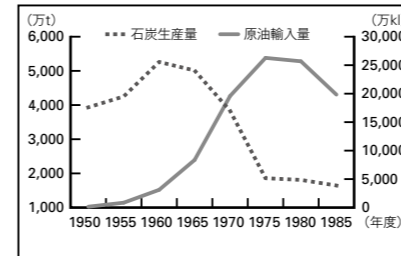
◎変化したこと

※国内総生産…国内で一年間に新たに生み出された商品の総額(兆円)

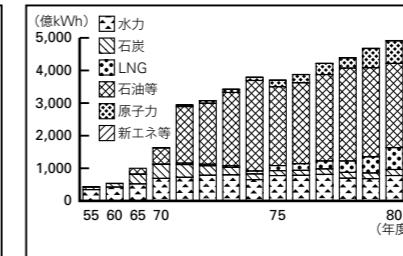
【 】…1955年から1973年までの間、年平均10%程度の経済成長を続けた。

3. 1960年以降、国民生活を支えたエネルギーはどのように変化したのだろうか。資料A～Dをもとに考えよう。

◎資料C 石炭生産量と原油輸入量の推移



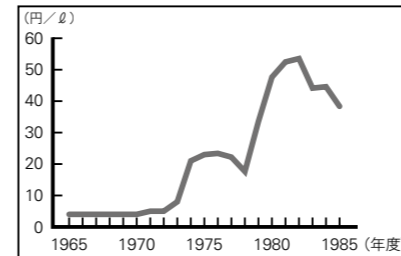
◎資料D 発電電力量の推移



◎変化したこと

4. 中東戦争の影響で起こった石油危機の結果、国民生活やエネルギーはどのように変化したのだろうか。資料A～Fをもとに調べ、考えをまとめよう。

◎資料E 原油輸入価格の推移



◎資料F トイレtpペーパーが無くなったお店



写真：読売新聞/アフロ

まとめ